

ユニファイド・データ・ファブリックで プライバシー規制にうまく対処



ティム ヒーリー, 弁護士
COO, YOUnite, Inc.

はじめに

この資料は、GDPR から罰金を受ける可能性について怖がらせるようなものではありません。むしろ、これをデータ・エコシステムを改善するチャレンジの機会とし、それによってクライアント・エクスペリエンスと収益を改善してもらうためのものです。

逆境は機会をもたらすということがあります。しかるに、多くの人がヨーロッパのプライバシー法を深刻なデータ管理の頭痛の種と見ています。顧客データを利用するためパーミッションを入手、顧客の個人データがどこにあるかを管理し、データが最新、重大でアクセスできることを保証するという新しいルールは、煩わしいものと思えます。挑戦であることに間違いではありませんが、クリーンで一貫性のあるデータを持つことは良い商慣行ではないでしょうか？ 法令順守の課題が我々をその方向にむけてくれるかどうかに関わらず、より良いデータがより良いビジネス判断をもたらすと思います。

企業が収集したすべてのデータの 55% は利用されていません。(2019 年 8 月に Priceonomics によって報告された Splunk グローバル サーベイ)

55% of all data
collected by companies
is unused (Splunk
global survey reported
by Priceonomics Aug.
2019).

真の挑戦は、企業のソース・システムが、クラウドにあるか自社内にあるかにかかわらず膨大な量のデータすべてをコントロールすることです。

飴と鞭のたとえで言えば、“鞭”は GDPR プライバシ法かもしれませんが、“飴”は、どのようなデータを持っているか、それがどこにあるか、それが最新で正確で間違いのないことをより理解することです。

GDPR の道筋

アイルランド

我々は、データを中央に置くことをひとつの解決策として言われていますが、今日の急速に変化する法的環境ではうまく行かないと思っています。アイルランドは最近、Facebook がアイルランド国民の個人情報をアメリカで処理できないと暫定的に裁定を下しました。

「(ロイター) 2021 年 5 月 23 日、アイルランドのデータ規制当局は、調査再開を認めた高等裁判所の裁定裁定に続き、ソーシャル・メディアの巨人が大西洋を横断するデータを転送することを止めることになるかもしれないトリガになる捜査に回答するために Facebook に 6 週間の猶予を与えました。

この件は、EU 市民のデータが商用目的で U.S. に送られる際に U.S. 政府の監視が EU 市民のプライバシーを尊重していないとの欧州連合の懸念に端を発しています。

アイルランドのデータ保護委員会 DPC (EU での Facebook の主要な取締官) は、昨年 8 月に調査を開始し、Facebook が EU ユーザのデータを US に転送するために Facebook が使う主なメカニズムを「実質使用できない」という暫定命令を出しました。

Facebook は、調査と暫定命令両方に異議を唱えました。ターゲットを絞ったオンライン広告を配信するためにユーザ・データ処理に頼っているビジネスに壊滅的で取り返しのつかない脅威を与えたと述べています。

アイルランドの規制当局が、暫定命令を施行すると、U.S. 企業がヨーロッパの個人データにアクセスできる特権が事実上終了し、ブロック外の他の国の企業も同じ立場に置くこととなります。

ドイツ

今年 6 月にドイツでは、政府職員が Facebook のアプリケーションを使わないように命じました。GDPR とドイツ・プライバシー法に準拠していないからというのが理由です。

ベルリン、6 月 29 日(ロイター) – ドイツ政府機関は、データ保護コミッショナがソーシャル・ネットワークがドイツとヨーロッパのプライバシー法に準拠していないことが判ったので、本年末まで Facebook FB.O ページをクローズさせました。

[コミッショナ] ケルバ氏は、パーティ・ライン・アプリ Clubhouse、ビデオ・クリップ・アプリ TikTok、Facebook のインスタグラム・サイトもまた同等の欠陥があると思われると付け加え、結論が出るまでこれらを利用することも政府機関が使わないように言いました。

ケルバ氏は、フォロワの個人データがアメリカに送信されないような形でファン・ページを運営することは不可能と述べました。EU 法の下では、同等に厳格なデータ保護規則を備えた場所のみ EU から送信することを許されますが、アメリカは当てはまりません。(トーマス エリコット氏によるレポート)

これらは大変なときではありますが、PII を中央で処理することは解決策ではないように見えます。より実際的なやり方は、各々の州や本国のソース・システムに重要なデータは持つておくことだと思います；それによって GDPR の一つの大きな課題が解決されます。そして、これで「全てが解決した」とは言えないのです。規制当局や弁護士が主張するように、規則や規制は時間が経つにつれ変わることは間違いありません。従って、データとガバナンス・システムは、アジャイルであるべきです。

英国の企業でさえ、依然アジャイルでなければなりません。ご存知のように、英国は EU に属し、データ共有での GDPR の範囲内にありました。。。そうでなくなるまでは、'Brexit' が可決され、英国はもはや EU の国ではなく、GDPR 下の特権もありません。全ての英国企業は、EU の国々が英国企業とデータを共有しようとするれば、どうしたらよいか判らない状態になってしまいました。英国が GDPR の精神に従い、データ共有が許されるという根拠の乏しい契約があるだけです。しかし、独立心のある英国人は'より良い'プライバシー規則を作ることを

考えており、そうなれば、英国企業を GDPR の罰金の危険にさらすことになります。

フェデレイテッド・データ・ユニフィケーションでデータ・ファブリック(Data Fabric)を実現

Facebook やその他企業が抱えているこのようなリーガル・リスクを回避するには、顧客のデータを中央に置かず、むしろそのデータをオリジナルのソース・システムにデータを保持しておくことを推奨します。これを「フェデレイテッド・データ」と言います。

YOUnite は、エンタープライズ・ソース・システム間にリアルタイムなデータ変更ルーティングとガバナンスを提供します。

PII は特定できず、GDPR 下で共有が可能です。

フェデレイテッド・データ・ユニフィケーションで、企業のデータ層にわたるデータ・ファブリックを構築しつつも、特定の国やゾーンへのガバナンス・パーミッションのもと全てのデータにアクセスできます。フェデレイテッド・データ・ファブリックは、パーミッション・ゾーンを作成し、ゾーンで法的な状況変化に比較的簡単に反応できます。もしアイルランドまたはドイツが、PII とは何か、あるいはどこに共有を許可するかに関する規則や解釈を変更した場合、データ・スチュワードはきめ細かくデータ・ガバナンスを変更し、アイルランドやドイツの会社全体に出入りする該当データの流れをコントロールできます。課題が解消されれば、パーミッションのゲートは新しいガイドラインに基づいてリセットでき、データは正しく共有されます。

YOUnite provides real-time data change routing and governance between your enterprise source systems.

PII can be deidentified to enable sharing under GDPR.

YOUnite provides Enterprise-Wide Data Quality

- Clean, enrich and transform data across the enterprise
- Choose best-of-breed data quality tools to integrate into the data unification workflow
- Extend existing investment in existing data quality solutions

YOUnite は、エンタープライズ・ワイドのデータ・クォリティを提供します。

- エンタープライズにわたるデータのクリーン、エンリッチ、変換
- 最善のデータ・クォリティ・ツールを選択し、データ・ユニフィケーション・ワークフローに統合
- 既存のデータ・クォリティ・ソリューションの投資を拡張

しかし、我々が求めている'飴'は、ビジネス・データをより良くコントロールするためであるということを忘れないください。恥ずかしい企業への GDPR の罰金という'非難'が、我々を動かしたかもしれませんが、フェデレイテッド・データ・ユニフィケーションを導入したあとは、ビジネスは、より多くのデータにアクセスし、エコシステム内を移動するときに、リアルタイムでデータをクリーン、エンリッチ、更新できます(i.e.,データ・ファブリック)。データのクォリティにより信頼が持てるので、データ分析がより信頼できることがお判りになるかと思います。重ねて、この機会はフェデレイテッド・データ・ユニフィケーションでより良いデータを持つことでより良いビジネス判断をもたらします。良い顧客サービスと GDPR コンプライアンスが自ずと導かれます。

GDPR とは？

一般データ保護規則 (GDPR : General Data Protection Regulation)は、プライバシーと個人データに関する EU 国民の権利を行使するもので、EU 国民の個人データを扱い、EU 内と EU でビジネスを行う企業の責任に焦点を当てるものです。ビジネスがヨーロッパにある必要はありません。EU の顧客を市場とするあるいは EU の顧客にサービスを提供するアメリカの企業は、ヨーロッパのプライバシー規制に該当します。

GDPRのもとでは、個人は自分の個人情報にある権利を持っています。

それらは：

- アクセス権
- 忘れられる権利
- データ・ポータビリティ権
- 知らされる権利
- 情報訂正権
- 処理を制限する権利
- 異議を唱える権利
- 通知を受ける権利

データ管理システムが、個別にまたはまとめてこれらの顧客の要求に対応できるかを確認してください。

GDPR で企業は顧客データの信任義務

YOUnite は、データ・ファブリックのファイアウォール：

- 詳細なリアルタイム・データ・ガバナンスが、データの共有/制限をコントロールに必要とされるツールを提供
- データ属性レベル(e.g. PII)で共有をきめ細かくコントロール
- 単一ダッシュボードからデータの共有/制限を簡素化

いくばくか難しいことは、誰が顧客のPIIデータを所有するかに関してパラダイム・シフトがあったとの認識です。GDPR は、明らかに個人、見込み客、顧客、契約者、従業員のデータに対してより強い力を与え、金銭目的のためにデータを収集する組織の力を取り去っています。PII に関するこの新たな見識に従わなければ、企業は途轍もない高額な罰金に直面することになります。その額は、企業の全世界での収入の4%または、2,000万ユーロのいずれか大きい方になります。

これは、企業がその顧客、従業員、サプライヤ、その他ビジネスを行う上での関係先についての情報を収集、管理、共有するシステムやプロセスを厳格にコントロールする必要があるということを意味します。

これは、企業がその顧客、従業員、サプライヤ、その他ビジネスを行う上での関係先についての情報を収集、管理、共有するシステムやプロセスを厳格にコントロールする必要があるということを意味します。

企業にとっての課題は、増え続けるデータがビジネス・データ・ストアのあらゆるところに断片化されてデータが広がってしまうという結果をもたらし、もしかすると部門独自の方法で顧客データを収集し使っている各部門サイロに隠れてデータが見えなくなることです。エコシステムのデータへの包括的なアプローチなければ、企業が気付かずに同じ顧客のレコードを複数持っていることが現実の可能性としてあります。GDPR に照らして、企業は顧客データがどこにあるかを知らなければ、データに関する顧客の要求に如何に応えることができるのでしょうか？

その答えは、企業の重要なデータを一つのエコシステムのもとに統合することです。データを物理的に中央に保存するのではなく、互いに論理的に接続すること、すなわちフェデレイテッド・データ・ユニフィケーションということ。データは、それが作られたソース・システムに留まり(GDPR またはその他政府機関の規制で要

YOUnite is a firewall for your data fabric:

- Fine-grained real-time data governance provides the tools needed to control the sharing/restricting of data
- Granular control of sharing at the data property level (e.g. PII)
- Simplifies sharing/restricting data from a single dashboard

求される法域内に留まる)、フェデレイテッド・データ・ユニフィケーションは、GDPR 準拠してすべての顧客データを集約できます。さらに、リアルタイム・フェデレイテッド・データ・ユニフィケーションは、詳細なデータ・ガバナンスを提供でき、GDPR の要求に応じてデータの共有/制限をコントロールできます。

中央ストアにコピーを作成したり、他のポイント・ツー・ポイント統合ソリューションを構築する必要はありません。

どこにデータがあり、いかに共有されているかを知る

YOUnite は、データ・レコード・リネージュ(履歴)の完結したフェデレイテッド・ビューを表示する：

- 全エンタープライズにわたる全てのデータ変更履歴をシングル・ペイン・ビュー
- エラーを根本原因までトレースし、またどこに複製されたかをトレースする力を大いに簡略化
- データ監査時間を短縮し、プロセスを大いに簡略化

GDPR は、個々の個人データを扱う組織が、データ収集の範囲、データ収集の目的、データ保持期間、データがサードパーティと共有されているかどうかといった個人の重要な側面を開示しなければならないことを要求しています。個人が、自身の個人データを共有することに合意した場合、組織はその収集と使用にあたり個人が何に同意したかを厳格に順守することを保証しなければなりません。これは、データがどこにあり、いつ作成されたか、誰がそのデータにアクセスしたか、どのように使われたか正確に示すツールやガバナンス・プロセスを持たない組織には非常に困難になります。

その答えは、詳細なデータ・ガバナンスとデータ・レコード・リネージュ(履歴)の追跡、文書化する機能を持つことです。これにより、監査人がその企業は GDPR に従っているというを確認できます。

YOUnite Shows Complete Federated View of a Data Record's Lineage:

- Single-pane view of all data change history across the entire enterprise
- Greatly simplifying the ability to trace errors back to the root cause or where it was replicated
- Data audit time saved and the process is greatly simplified

アクセス権と削除権

YOUnite は、データ・レコードに対するグローバル削除ポリシーを実装することができます。

GDPR は、「顧客についての企業データ」である顧客データを、信頼のもとに企業に保持されている顧客のデータへとパラダイム・シフトしました。そのパラダイム・シフトを更に先に進め、GDPR は顧客が組織(データ処理者)によって収集されたデータを要求し、取得する権利を有し、特定の条件下でデータの消去を要求できると述べています。

YOUnite can be implemented to enable global delete policies to data records.

うまく整理されたユニファイド・データ・システムは、データがどこにあるかを認識し、報告できる形で集約できます。顧客情報が古くなっている、または正しくないことが判明した場合は、該当するソース・システムでデータは修正され、更新された情報はエコシステム全体に適切に配布することができます。同様に、顧客の

削除要求は、全エコシステムの単一のユーザ・インターフェースで顧客データを共有している他の全てのビジネス・アプリケーションにわたって実行されます。

YOUnite creates enterprise-wide data access through a single interface:

- REST API Data Endpoints with Lucene search
- Webhook notifications to feed applications and existing BPM tools
- JDBC Connector creates an enterprise wide DB connection for tools such as BI
- Customize queries using GraphQL

YOUnite は、単一インターフェースを通してエンタープライズ・ワイド・データ・アクセスを行います。

- Lucene サーチで REST API データ・エンドポイント
- アプリケーションと既存 BPM ツールへ Webhook で通知
- JDBC コネクタが、BI のようなツールへのエンタープライズ・ワイド DB 接続を構築
- GraphQL でクエリをカスタマイズ

まとめ

データ・プライバシー規制への法令順守は、組織にとって差し迫ったビジネス上の必須事項の一つです。法令順守しないということは、当局によって重大なペナルティと顧客離れによる収益損失を意味します。しかし、これがもたらす機会を見てみましょう。企業は、何テラバイトものデータを収集していますが、最近の調査によると、自社システムにあるデータの 55% が活用されていないと重役たちは考えています。これは、活用されていない多くのビジネス資産です。

企業は、エンタープライズ・データを統合するビジネス・オペレーションの中断を最小限に抑えながら時間をかけて実装できる戦略を必要としています。費用がかかるデータ・アーキテクチャの書き直しや維持のための別のソース・システムを必要としないものを。

全ての GDPR ソリューションの何を提供できるか、データ・ユニフィケーションがもたらすビジネス機会について YOUnite にお問合せください。このチャレンジをビジネス機会に変えるお手伝いをします。